

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議



2011年10月5日 第19号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

100万人署名拡大実行委員会整然と開催される

台風一過の秋らしい日和の去る9月25日(日)、100万人署名推進拡大実行委員会が開かれました。準備した150名余の椅子が足りなくなるほどの人々で埋め尽くされ、増田一世100万人署名実行委員会共同代表の司会により熱気に包まれながら会が進行していきました。

開会に当たって小島卓也100万人署名実行委員会共同代表から、この7月に国の5疾病に精神疾患が入ったことを中心に、この活動が大事な局面を迎えているとの挨拶があり、来賓として石毛鏡子衆議員議員と東レ特別顧問佐々木常夫氏のお二人からもスピーチを頂きました。



石毛鏡子議員からはこころの健康を守り推進する基本法(仮称)制定に向けて超党派議連の結成の努力に関するご報告をいただきました。佐々木常夫氏は奥様とともに御出席され、「肩を組もう・助け合おう・運命を引き受けよう・運命に立ち向かおう、あなたは一人ではない!、がんばろう!」と応援をいただきました。

西田淳志こころの健康政策構想実現会議共同代表(事務局長)からは、昨年春の構想会議の発足から今日までの活動の進捗報告と、6月25日全国一斉街頭署名運動の各地の様子が日本地図上で広がっていくのが映像で紹介され、100万人署名を1月末をめどに達成すべく更なる結集の必要性を力強く話されました。1)11月6日の秋の全国一斉街頭署名、2)年末の国会における大集会、3)1月末100万人署名の完了、2月中の集計、4)4月には国会請願署名提出に至る、という今後の大まかなスケジュールが示され、明日からの取り組みを思い描く参加者一同の頭が整理されました。



その後、みんなねっとの川崎洋子理事長を始め、ぜんせいれん、コンボ、日本精神科看護技術協会などの看護、医療、心理、リハビリ、関連機関、作業所など多くの団体代表の方々からそれぞれの立場からの感想を率直に語っていただいた。日頃コンタクトのない団体が互いの存在を知り、この運動を通して繋がっている喜びを感じた人も多かったはずだ。

休憩時間の後は北は青森、南は熊本まで約25名ほどの各地から駆けつけた方々からは、各々の取り組み、成功談、苦労話などを活発に会場中マイクが回され、微笑ましいお国なまりの語り口は全国から参集して下さったことを実感するに十分でした。また皆さんの話には互いに共通したものがあつたり、参考になることが見出されたり、まさにこの日の署名推進拡大実行委員会の意義を強め会場をひとつにまとめたことを確信できました。

また、この運動を成功裡に導く重要な取り組みの一つとなる、調布市の議会への調布かささぎ会の要請行動が説明されたことは特筆すべきことです。

(調布市では26日、既にこの陳情書の採択がなされたということです。これはこの日各地から集った皆さんには具体的に行動に入る事の出来得る有効な活動の見本として大事なお土産になったはずです。)

最後に“集会アピール”も会場いっぱいの拍手で採択。後は11月6日の全国一斉署名活動当日の天候の穏やかなことを祈るのみです。

野村忠良100万人署名推進委員会共同代表による、成功のために終盤戦に向け各地での取り組みの健闘を願う終わりの挨拶がありました。予定時間を超過した集会となりましたが、数ヶ月後の活動の成果を期待させる実りある集会の幕を閉じました。

